



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 テイカ株式会社  
 コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名木田 正男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,769	13.7	3,270	18.2	3,367	23.6	2,329	22.8
29年3月期第2四半期	18,274	0.2	2,767	22.6	2,723	13.2	1,897	13.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,522百万円 (44.0%) 29年3月期第2四半期 2,446百万円 (480.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	99.08	
29年3月期第2四半期	80.36	

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	57,635	42,485	73.3	1,796.30
29年3月期	53,975	39,224	72.3	1,659.20

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 42,234百万円 29年3月期 39,014百万円

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	12.4	6,100	4.2	6,100	2.2	4,200	3.2	178.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	25,714,414 株	29年3月期	25,714,414 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,202,530 株	29年3月期	2,200,242 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	23,513,224 株	29年3月期2Q	23,617,326 株

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年6月28日開催の第151期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合と株式併合を考慮する場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成30年3月期の配当(1株当たり配当金)

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
第2四半期期末	7円(注)	14円
期末(予想)	7円	14円
合計	14円	28円

(注)第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(2) 平成30年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益)

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
通期	89円32銭	178円63銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢など懸念材料はあったものの、雇用環境や企業収益の改善などを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは国内外での新規市場の開拓や既存取引先との関係強化などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、汎用用途の酸化チタンや機能性用途の表面処理製品の販売が引続き好調に推移しましたこと、またその他製品も概ね予想通りとなりましたことなどにより、売上高は207億6千9百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は32億7千万円（前年同期比18.2%増）、経常利益は33億6千7百万円（前年同期比23.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億2千9百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

#### 酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは世界的な需給逼迫状態にあるなか、塗料・インキ向けの販売は堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタンは販売数量、売上高ともに前期並みとなりましたが、表面処理製品は化粧品向けのインバウンド需要や輸出が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を大きく上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は111億8千5百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

#### その他事業

界面活性剤は主用途の洗剤等日用品向けが堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。また、海外の連結子会社の販売も順調に推移し、売上高は前期を上回りました。

硫酸及び無公害防錆顔料は販売数量、売上高ともに前期並を維持しました。

導電性高分子薬剤はコンデンサ向けが堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

倉庫業は保管量が増加しましたことにより、売上高は前期を上回りました。

エレクトロ・セラミックス製品はユーザーでの在庫調整はありましたが、売上高は前期並を維持しました。

以上の結果、当事業の売上高は95億8千3百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、576億3千5百万円（前連結会計年度末比36億5千9百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が16億2千6百万円、投資有価証券が17億3百万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は、151億4千9百万円（前連結会計年度末比3億9千8百万円増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が8億4千4百万円増加したことによります。

純資産合計は、424億8千5百万円（前連結会計年度末比32億6千1百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が20億4千7百万円、その他有価証券評価差額金が11億8千4百万円、それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが、19億9千7百万円の収入（前年同期比19億7千1百万円収入額の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益33億6百万円、減価償却費9億3千4百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億2千6百万円の支出（前年同期比5億3千万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億7千7百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億2千1百万円の支出（前年同期比3億3千8百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2億8千万円、配当金の支払額2億8千1百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末より1億4千7百万円増加し、127億6千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,693	12,840
受取手形及び売掛金	11,498	13,124
商品及び製品	4,380	4,471
仕掛品	535	487
原材料及び貯蔵品	1,956	2,367
その他	497	507
流動資産合計	31,561	33,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,242	4,501
機械装置及び運搬具(純額)	5,118	4,816
その他(純額)	2,145	1,939
有形固定資産合計	11,507	11,256
無形固定資産	49	46
投資その他の資産		
投資有価証券	10,067	11,770
その他	812	783
貸倒引当金	△23	△21
投資その他の資産合計	10,857	12,532
固定資産合計	22,414	23,835
資産合計	53,975	57,635

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,859	4,704
短期借入金	662	1,466
未払法人税等	1,091	1,070
賞与引当金	367	371
その他	2,944	2,068
流動負債合計	8,925	9,681
固定負債		
長期借入金	1,055	204
環境対策引当金	12	7
退職給付に係る負債	3,188	3,212
その他	1,569	2,042
固定負債合計	5,825	5,467
負債合計	14,751	15,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	19,204	21,252
自己株式	△1,780	△1,784
株主資本合計	34,047	36,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,104	6,288
繰延ヘッジ損益	△42	△14
為替換算調整勘定	116	71
退職給付に係る調整累計額	△211	△202
その他の包括利益累計額合計	4,967	6,143
非支配株主持分	209	251
純資産合計	39,224	42,485
負債純資産合計	53,975	57,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,274	20,769
売上原価	12,828	14,684
売上総利益	5,445	6,084
販売費及び一般管理費	2,678	2,813
営業利益	2,767	3,270
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	77	95
その他	34	28
営業外収益合計	112	126
営業外費用		
支払利息	16	13
為替差損	134	—
その他	5	16
営業外費用合計	155	30
経常利益	2,723	3,367
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産除却損	40	60
特別損失合計	40	60
税金等調整前四半期純利益	2,706	3,306
法人税、住民税及び事業税	791	998
法人税等調整額	△0	△34
法人税等合計	790	963
四半期純利益	1,915	2,343
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,897	2,329



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,915	2,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	907	1,184
繰延ヘッジ損益	△26	28
為替換算調整勘定	△366	△41
退職給付に係る調整額	16	8
その他の包括利益合計	531	1,179
四半期包括利益	2,446	3,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,453	3,505
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,706	3,306
減価償却費	938	934
受取利息及び受取配当金	△78	△98
支払利息	16	13
売上債権の増減額 (△は増加)	130	△1,614
たな卸資産の増減額 (△は増加)	665	△455
仕入債務の増減額 (△は減少)	359	842
その他	2	△81
小計	4,739	2,848
利息及び配当金の受取額	78	98
利息の支払額	△16	△13
法人税等の支払額	△833	△935
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,968	1,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△967	△1,477
投資有価証券の取得による支出	△6	△5
投資有価証券の売却による収入	30	—
その他	△51	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△995	△1,526
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△73	231
長期借入金の返済による支出	△337	△280
非支配株主からの払込みによる収入	—	25
自己株式の取得による支出	△1	△4
配当金の支払額	△235	△281
その他	△12	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659	△321
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,402	147
現金及び現金同等物の期首残高	8,461	12,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,864	12,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,166	8,107	18,274	—	18,274
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	260	260	(260)	—
計	10,166	8,367	18,534	(260)	18,274
セグメント利益	1,687	1,076	2,763	3	2,767

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,185	9,583	20,769	—	20,769
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	256	256	(256)	—
計	11,185	9,840	21,025	(256)	20,769
セグメント利益	2,233	1,033	3,267	3	3,270

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。